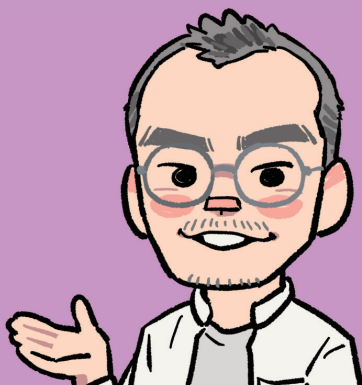


# 光村ポケット

## 中学校 英語

言語活動を

もっと自由に、もっと豊かに！



専修大学

かじろ てつし

神白 哲史 准教授

- ☒ 発信活動で生徒が自分のことを話せない
- ☒ 地域を紹介する活動がいまいち盛り上がらない
- ☒ 定型のやり取りに生徒が飽きてしまう

ひとつでも当てはまる方は、ぜひ中面をご覧ください！

LINE公式アカウント友だち募集中！



授業づくりに役立つ情報を、いち早くお届けします。



光村図書

【教授用資料】 本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

いつもの活動にひと工夫で

## 言語活動をもっと自由に、もっと豊かに！

言語活動で、生徒がうまく話せず困っていませんか？  
そんなとき、役立つ工夫を紹介します。

### 【お悩み①】

英語で予定を話すとき、生徒が“I have no plans.”と答えがちです。

**Speak** About You ペアになり、夏休みの予定を友達と伝え合いましょう。➡ Active Words (p. 133)

[例] A I'm going to visit my grandparents. They live in Fukuoka.  
I'm looking forward to seeing them and their dog.  
B Sounds fun.

Here We Go! ENGLISH COURSE 2年 p. 33

楽しい予定が特にない場合、生徒の発話はなかなか出てこないでしょう。聞いている側も、何を質問したらよいか、苦心してしまうこともあると思います。しかし、そもそもこの活動において大切なのは「**会話を英語で続ける」「なるべくたくさんの知っている英語を使ってみる**」ことですので、「**実際の予定**」を英語で話すことにこだわらず、「**理想の予定**」を話してもよいことにしてはどうでしょう。

A: I'm going to travel abroad. My family will visit New York to see the Statue of Liberty.

B: Sounds fun. What do you want to eat there?

など、聞いている側も質問がしやすい会話の流れが生まれるはずです。

生徒に想像力を発揮してもらうのはどうでしょうか。



神白先生

### 【お悩み②】

英語で地域を紹介する活動のときに、生徒が黙ってしまいます。

**Speak** About You ペアになり、ALT に紹介したい地域のイベントや名所を話し合いましょう。➡ Goal

1. 紹介するもののアイデアを挙げ、それらの特徴を他の事物と比べながら説明してみましょう。

[例] A Sapporo TV Tower is taller than Sapporo Clock Tower.  
B Takino Suzuran Hillside Park is the largest park in Sapporo.

Here We Go! ENGLISH COURSE 2年 p. 93

「地域」を「住んでいる市町村のみ」などと狭く捉えると、「いつもショッピングモールの話になってしまう」など、話せる話題が限定的になり、生徒が話しづらいかもかもしれません。生徒の実体験と絡めながら、**もっと広く「自分たちに関連する地域」のことを話してみてもよいでしょう。**

住んでいる市町村だけでなく、遠足や修学旅行で行った地域について話すことも考えられます。日頃のT-S Interactionで次のようなやり取りをすることも効果的です。

地域を広く捉えて活動してみるのはいかがでしょう。



神白先生

T: Where did we go for the school trip last week?

S: We went to Mt. Fuji.

T: Yes, we went to Mt. Fuji. Unfortunately, we couldn't see it clearly. Why?

S: It was cloudy.

T: Yes, it is a very high mountain, and clouds easily cover its top. But all of us know it's beautiful.

活発なコミュニケーションの基本は、双方が持っている情報に差があることです。「クラス全員がわかり切っている地域の話題」よりは、「ちょっと知らないことが含まれている地域の話題」のほうが、話したいこと、質問したいことが多いはず。ただ、生徒たちが無理なく英語で話せる事柄が多いのは、「いつも話している、いつもの地域の話題」でしょうから、バランスも大切ですね。

### 【お悩み③】 ディスカッション活動のとき、教科書の定型表現ばかり使うからか、生徒が退屈そうにしています。

**Speak** グループごとに、どのポスター案を採用するかを、話し合って決めましょう。

1 考えを伝え合おう

左ページの3つのポスター案を比べて、よいと思うものとその理由を伝え合いましょう。

**Key Words**

- colorful
- easy to understand
- eye-catching
- feeling of excitement

➡ Active Words (p. 136)

**TIP** 先に結論や主張を言って、その後に理由を足すと、意見がわかりやすいね。

I think A is the best. It's the easiest to read.

I think C is better than the others because the pictures are beautiful.

Here We Go! ENGLISH COURSE 2年 p. 99

一口に「退屈」と言っても、「**わかり切っているから、退屈してしまう**」ことと「**わからないから、退屈してしまう**」ことの2つが考えられます。こういった言語活動を「これまで学んだことを練習する機会」と捉えた場合、使える表現（ポスターのよさを伝える英語）は当然限られますが、それらは「わかり切っているから、退屈してしまう」というほど簡単なことではないと思います。

一方、「わからないから、退屈してしまう」ということは当然考えられます。例えば「自分の意見を考えて、言ってみよう」としたときに難易度が上がり、「うまくできないから退屈」になってしまうこともあるでしょう。**教科書の定型表現を十分に練習しておく。そのうえでそこに自分の意見を付け加える。**このような練習を普段の授業でどれくらいしているかによって、生徒を退屈にさせることを防げるかもしれません。

## Column



専修大学  
神白 哲史 准教授

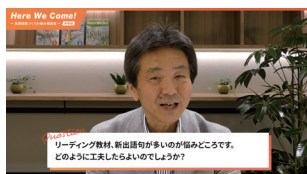
### 車の運転と英語の学び

20年来のゴールデンペーパードライバー(?)でしたが、車の運転をするようになりました。アメリカ留学中に免許を取得したので、日本で運転するには下手っぴすぎて、乗ろうとも思わないできましたが、おっかなびっくり乗ってみたら、事故を起こさない程度には乗れるようになりました。英語も、下手っぴでも事故らない程度に楽しむことから始めればいいのだと思います。



## 動画コンテンツのご紹介

### Here We Come! 英語授業づくりお悩み相談室



教科書編集委員の太田 洋先生（東京家政大学教授）に、日々の授業づくりにまつわるお悩みに一問一答形式でお答えいただきました。



こちらから↑

### Here We Come! 中学校英語出張ゼミナール



授業にまつわる今日的なテーマについて、理論編と実践編の二部構成で、英語教育をご専門とする先生方にそれぞれの視点からお話いただきました。



こちらから↑

### 【指導書等ご購入者限定】指導サポート動画



太田洋先生が「①Unitの学習」「②文法、学び方」「③小中連携」について、ポイントを絞ってやさしく解説します。明日からの授業で使えるヒントが満載です。

\* 閲覧には指導・評価編のp.4などに記載されたパスワードが必要です。



こちらから↑

## Here We Go!

### キャラクターLINEスタンプ 好評販売中

Here We Go! に登場するキャラクターの日常が40個のスタンプになりました。120円または50コインで販売中！

右の二次元コードから、もしくは  
スタンプショップで「**光村図書**」と検索してアクセス！



光村図書

教授用資料

発行者

発行所

イラスト

吉田直樹  
光村図書出版株式会社  
〒141-8675 東京都品川区上大崎2-19-9  
電話:03-3493-2111(代表)  
いいいたつや

光村図書ウェブサイト

光村図書 | 検索

